

薬剤師が調剤した薬

効き目で評判の風邪薬

かぜ

早めが効き目
非ピリン系かぜ薬
感冒剤13号
服用しやすい細粒
9包 ¥1260



薬剤師が調剤した薬

長びく

咳・たん

鎮咳去痰剤13号

咳だけがダラダラ続く...
そんな症状に最適!

9包 1050円



薬剤師が調製した薬

原末処方

頻尿

【効能・効果】

下肢痛、腰痛、しびれ、かすみ目
かゆみ、排尿困難、頻尿、むくみ

八味地黄丸
細粒

21包(7日分) 1580円



薬剤師が調製した薬

原末処方

冷え性・頭痛・めまい・月経不順

当帰芍薬散
細粒

21包(7日分) 1580円



年をとってきたら
親に似てくる! **なぜ?**

人間は「天の気」、「地の気」
「人の気」で生かされている。

「天の気」は天空より呼吸をして体内に、「地の気」は
大地に育つ作物を食べて体内に、そして「人の気」は
生まれた時に親から生命力としてもらいます。

年齢とともに体力、気力が減少してくると、元々
の家系の顔に近づいてくるのです。

薬用人参は
「気」の力を
高めます。



若甦は自律神経活動を2~5倍高め、
バランスをとります。

(京都大学大学院 人間・環境学 研究科教授 森谷俊夫先生)

じゃつ こう

若甦

若甦内服液

1本648円
5本+1本3240円

若甦S錠

120錠 3888円
240錠 7020円



ひとみのルテイン
アルテイン・クロセチン
活性酸素が目を
守ります



30粒 4320円

読書の秋

秋の夜長、読書は楽しみの
一つ。でも目がついてい
けない方へ眼が強くなる
錠剤の漢方薬。



杞菊地黄丸

300錠 3672円

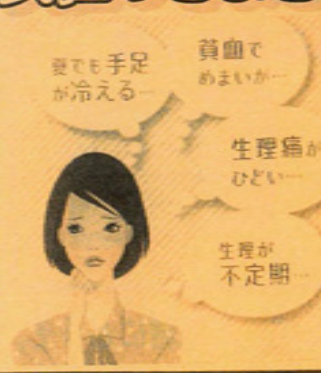
物忘れ!

気になったら
脳活成分を補給。

アルツハイチャージ

DHA・EPA・ホスファチジルセリン・トコトリエノール・イチヨウ葉エキス・アスタキサンチン180粒 9504円

女性のさまざまな悩みに



血色不良、荒れ肌
乾燥肌、頭痛肩こり
冷えのぼせ、息切れ
眠りが浅い

飲みやすいシロップ剤
婦人宝

1か月分 5400円

知ってた? 初耳? の答え
正解は①番です。

キャベツと一緒にまたは前後してカゼ薬
を飲むと、カゼ薬の効き目が落ちる。
キャベツ中の成分によって、カゼ薬の
主成分のアセトアミノフェンの代謝産
物であるグルクロン酸抱合体が増加し
尿中に早く排泄されるからである。

健康は なくしてわかる ありがたみ。 医薬品は配達します。お気軽にどうぞ。

処方せん受付 **コーソ薬局諸富店**



佐賀市諸富町山嶺452-8 野町バス停前 TEL0952-47-3227 毎週日曜日定休日 営業時間午前9:00~午後8:00



慢性に経過した病状や、検査ではたいしたことないのに毎日つらい思いをしている。もう年のせいとあきらめている。そんな方におすすめしたい漢方自然療法。

漢方薬



尿もれ 頻尿 尿意切迫

漢方薬は本来煎じ薬ですが、エキス剤錠剤もごさいます。また煎じるのができない方のために当薬局では自動抽出機を導入、煎じ薬がそのまま液体のパックで服用できるようにしております。

トイレをすませたのに突然、尿意を覚え、ひどく困った経験をしたことがある人が多くなりました。一日に八回以上の排尿がある場合を頻尿といいます。

また、尿が少ししか溜まっていなくても膀胱の筋肉が勝手に収縮し、尿がいつぱいだという信号を送り、突然激しい尿意を感じたり、間合えず尿もれをすることがあります。冷え、ストレス、ホルモン分泌低下、脳に道括約筋の衰えなどが原因として考えられています。

相談電話 0952-47-3227

コーソ薬局 諸富店

佐賀市諸富町山領(国道208号線沿い)野町バス停前

営業時間朝9時より夜8時まで 毎週日曜日定休日



尿意切迫感



切迫性尿失禁

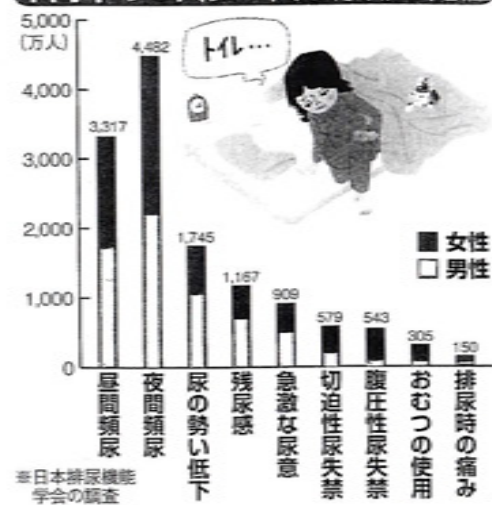


夜間頻尿



頻尿

中高年の3人に1人が尿トラブルを発症



昼間頻尿は3,300万人、夜間頻尿は4,400万人、尿の勢い低下は1,700万人、尿がもれるは1,100万人など、尿トラブルで40代以上の3人に1人、60代以上の3人に2人が悩んでいる。

骨盤や太ももなど下半身の筋肉を若返らせましょう。



足を台の上にのせ、太ももと床が平行になるようにする。次に足に力を入れる。太ももの内側に変化がなければ筋力アップ

出を快調にし 治す注目の薬

治りにくい中高年の夜間尿を 解消する八味丸が、ちみのすぐれた効果



夜間尿は老化現象の一つ

中年を過ぎると、夜中にふと目が覚めることが多くなります。そんなとき、トイレに行き排尿をすませてくると、またよく眠れるものです。しかし、これが毎日つづくと、少し心配になってきます。不眠症に

いうことを自覚することが大切なのです。夜中に膀胱に尿がたまると、膀胱は脳に、目を覚ましてトイレに早く行くように信号を出します。目が覚めたときに、もし、ひどく小便に行きたい気持ちが起きているようでしたら、まさにそういうことが起きているといっているでしょう。

膀胱は、腎臓でつくられた尿をいったんためておくところですが、約三〇〇割の尿がたまり、大脳に信号を伝えます。私たちの体は本来、眠っているときには、小便に行かないようになくみが備わっているのです。夜は腎臓が働いていないということではなく、腎臓が正常に働いているにもかかわらず、膀胱に小便がたまらないのです。

血液の中の老廃物や不利用物質をとり出し、尿として排出するのが、腎臓

の主な任務です。この仕事は、まず腎小体というところで血液をろ過することからはじまります。この腎小体でつくられた尿には、まだ有用成分（水も含む）が多く入っている。この尿細管というところでこれらの有用成分を再吸収します。

こうして完全な尿がつくれるわけですが、この再吸収をコントロールしているのは脳です。とくに水の再吸収は、大脳の下面にある脳下垂体の後葉から出るバゾプレッシンというホルモンによって促進されます。

たくさん水を飲んだときには、それを脳がちゃんとよく知っていて、このホルモンの分泌を少なくしてしまいます。そうすると、水の再吸収が少なくなるので、膀胱に多くの水が流れ込むということになります。そうすると、小便に行きたいという気持ちが起こる、というよう

尿の

に、見事なシステムが備わっているのです。

このバゾプレッシンというホルモンの分泌は、飲水量に左右される以外に、毎日のリズムがあります。すなわち、眠りに入ると、このホルモンの分泌が多くなるのです。すると血液への水の再吸収が促進され、膀胱に水がたまらず、ぐっすり眠れるということになります。

ところが、夜中も昼間と同じようにこのホルモンの分泌が少なければ、睡眠中も昼間と同じように小便に行くということになります。このようなホルモンの分泌の乱れは、老化の兆候が現れはじめた中高年に多いものです。

夜間尿はこのようにして発生するのですが、この場合、八味丸を服用してみてください。見事に、夜間尿が止まります。八味丸は強い老化防止作用をもち、老化と老化が原因のさまざまな病気によく効く漢方の名薬中の名薬です。

夜中に一度目が覚めてトイレに行く人は、まず八味丸を寝る前に服用してみてください。きっと改善できると思います。

しかも、八味丸を飲みはじめると、朝の目覚めがよくなり、一日中なんとなく活力が出てきたような感じがし、顔色もよくなり、肌もツヤツヤして、ホルモンの分泌がさかんになったという感じが、はつきりうかがえることでしょう。

このほかに、夜間尿や夜間頻尿が起る原因に、男性の場合には、前立腺（男性の膀胱の下面に位置する、生殖に関連するクリの奥の腺）の肥大による場合があります。この場合でも八味丸は、夜間尿の解消のほか、頻尿に尿意が起る、尿の出が悪い、残尿感があるなどの自覚症状の改善をしてくれ、排尿が快調になることが多いのです。また、膀胱頸部硬化症という病気の

による排尿困難にも八味丸が有効だという報告も多くなされています。夜中に一回、トイレにどうしても行くという人は、必ず八味丸を服用してみてください。そして、夜間尿が改善されれば八味丸の服用を中止すればいいと思います。

また、一般に数回もトイレに行くという場合には、八味丸でもなかなかうまくいかないこともあります。その場合でも、根気よく服用をつづけてください。しだいに頻尿が改善されてくるようならば、同時に体の他の部分の老化も防止できているといえるでしょう。八味丸は夜間尿を目撃に服用して、全身の老化、成人病を予防できる薬といえるのです。

誰でも年をとる、年とともに老い弱る

でも・・・いつまでも元気でいたい、体も頭も。

食べる力・動く力・考える力をもう一度強くしたい方へ漢方処方の紹介。

○^{じ じん つう じ とう}滋腎通耳湯（万病回春）

耳の弱り

【効能・効果】体力虚弱なものの次の諸症：耳鳴り、聴力低下、めまい
耳の異常は漢方では、（漢方でいう）腎の衰えととらえ、腎の機能を高める漢方薬を用いることが多いものです。現代人の感覚からすると、腎は体に溜った余分な水分を排泄する働きと考えがちですが、漢方でいう腎はもっと広い意味があり生命活動の原動力を提供し、生殖・成長・発育にかかわると考えています。
したがって、この腎の働きが衰えると老化が早まり、老化現象としての耳鳴り、聴力の低下などが現れるとしています。

○^{じ じん めい もく とう}滋腎明目湯（万病回春）

目の疲れ

【効能・効果】体力虚弱なものの次の諸症：目のかすみ、目の疲れ、目の痛み
すごく疲れていることにより（漢方でいう）腎の機能が低下し目に血液の栄養がいかなくなり、目が見えにくくなったり、痛んだりするものに用いられます。
目を酷使することが多く、目の疲れや充血、痛みなどを伴うものによいとされています。

○^{ほ き けん ちゅう とう}補気建中湯（済生方）

むくみ

【効能・効果】体力虚弱で胃腸が弱いものの次の諸症：腹部膨満感、むくみ
高齢者や体力が弱っている方で尿の出が悪く、むくみがある方に用いられます。

○^{こ ぎく ち おう がん}杞菊地黄丸（医級）

目の弱り

【効能・効果】体力中程度以下で、疲れやすく胃腸障害がなく、尿量減少又は多尿で、ときに手足のほてりや口渇があるものの次の諸症：かすみ目、疲れ目、のぼせ、めまい、排尿困難、むくみ、視力低下
昔から目や耳の衰えは病気というよりも、老化現象のひとつとして、歳のせいだとあきらめることが多かったものです。漢方では、このような感覚器の衰えには（漢方でいう）腎の働きを高める漢方薬で防いできました。

○^{ど かつ き せい とう}独活寄生湯（和剤局方）

腰の弱り

【効能・効果】疲れやすく、下肢が冷えやすいものの次の諸症：
腰痛・関節痛・下肢のしびれ・痛み

からだが虚弱で疲れやすい方の痺証（ひししょう）に用います。痺証とは、冷えや湿気が体内に入ることによって腰や手足などの運動器に起こる痛み・しびれをいいます。腰痛や手足の痛みが慢性化した方や高齢者に多いといえます。

○^{かん ろ いん}甘露飲（和剤局方）

口中荒れ

【効能・効果】体力中程度以下のものの次の諸症：口内炎・舌の荒れや痛み・歯周炎

口腔は食事や呼吸、発声などが行われ外部と接しているため、口臭を気にする方が多くなってきました。口腔内のトラブルでよくみられるのが、口内炎や舌の荒れそして歯茎の腫れです。

○^{そ し ぐ ぎ とう}蘇子降気湯（和剤局方）

息切れ

【効能・効果】体力虚弱で足冷えや顔のぼせがあり、息苦しさのあるものの次ぎの諸症：
慢性気管支炎、気管支ぜんそく

咳よりも呼吸困難が主で、高齢者に多く用いられます。胃下垂があつて足腰が冷え気が上にあがる人で吸気性の息苦しさに適しています。

相談電話 0952-47-3227

コーソ薬局 諸富店

佐賀市諸富町山領（国道208号線沿い）野町バス停前

営業時間朝9時より夜8時まで毎週日曜日定休日

を改善し脳卒中を 漢方の老化防止薬

山ノ内慎一 (医学博士)

老眼 防ぐ

白内障や老眼の 防止にも有効

身の中にどまるものではありません。心臓に作用して血の流れをよくする働きがあるため、血圧をその人に合ったほどよい状態に保ったり、老人ボケを防止したりする力もっています。

目の中のレンズにあたる水晶体が白く濁ってしまう白内障も、程度の軽いものならば、体内の血や水の流れを正常にする八味丸の働きで、改善ないし治癒させてしまうことができます。

さらに目といえ、老眼になるのを遅らせたり、視力を回復したりするのにも、この八味丸は絶大な偉力を発揮します。私が扱った症例を総合すると、八味丸を常用している人

へそから下の老化を防止する薬

「へそから下の老化防止には八味丸を、首から上の老化防止には釣藤散を常用するとよい」といわれます。長年、漢方薬の研究にたずさわってきた私もまた、この二つの名薬がこの言葉どおりの働きを発揮した事例の数多くを、現にこの目で見てきました。



『好色一代男』にも登場する八味丸

この薬の歴史は大変古く、いまからおよそ一八〇〇年前、中国の後漢時代に著された医書『金匱要略』に八味腎気丸の名称で書き記されています。

のおよそ六〇七割が、視力にしておよそ〇・三〇・五も改善されています。老眼の世話にならなくてもすむ人も数多くいます。

そのほかに、血行がよくないために起こる肩、首、腰のこりや、脳卒中の後遺症としてあらわれる言語障害などにも効果があります。

いわゆる老人ボケという現象は、どちらかというと血圧のやや低めの人に多いものです。

血圧の低い人は、一般に高い人よりも長生きできる傾向にあります。が、逆に、血流を送り出す力が弱い。ため脳の細胞に血液がうまく回らないようになると、老人ボケといわれる事態を招いてしまうのです。

腎臓——すなわち、腎臓や副腎、それに生殖器、泌尿器などの器官を元気づけてすっきりさせる薬という意味です。

ほかに、八味地黄丸、あるいは単に腎気丸、地黄丸の名称で呼ばれる場合もありますが、みな同じ八味丸のことをさして、ます。

八味丸という文字が示すとおり、八種類の生薬（草根木皮の類でそのままだけの生薬）からつくられています。

キンボウゲ科トリカブトの根を加えた「附子」、ボタン科ボタンの根の皮を薬用にした「牡丹皮」、ゴマノハグサ科アカヤジオウの根を乾燥させた「地黄」、ミズキ科サンシュユの果実「山茱萸」、ヤマノイモの根の皮をはいで乾燥させた「山薬」、アカマツの根のまわりに寄生するサルノコシカケ科の菌体「茯苓」、オモダカ科サジオモダカの茎を乾燥させた「沢瀉」、クスノキ科ニッケイの樹皮や枝の皮である「桂皮」——以上の八種がそれです。

八味丸は比較的、証（適応症）による漢方的な診断基準にこだわらずに広く誰でも使える薬ですが、へそを境として上腹部と下腹部に分けた場合、その両方をさわってみて下腹部

首から上の老化を防止する薬

首から上の老化防止に効果を発揮する釣藤散は、八味丸に比べればずっと歴史の新しい漢方薬です。

その名がはじめて文獻に現れるのは十三世紀、中国南宋朝の時代です。儒学者から医師に転じた許叔微が著した『普濟本事方』という医書の中においてです。

この本では、釣藤散の薬効が、ただ「肝腎虚を治す」と記されているだけで、現代の言葉に直せば、肝臓のほうから頭へとせりあがってくるさまざまな症状、たとえば頭痛、めまい、頭重感などをすっきりと治す、ということになるでしょう。

こうした諸症状は、主に高血圧症が原因となつて生じる脳動脈硬化症の兆候といわれるものばかりです。脳動脈硬化は、脳卒中の原因にもなります。

附子は新陳代謝を活性化し、牡丹皮は血行をととのえ、茯苓、沢瀉は利尿効果にすぐれ、地黄、山薬、山茱萸は滋養、強壮作用に富み、桂皮は鎮静作用をもっています。

八味丸は江戸時代、主に精力増強剤としてさかんに使われたようです。井原西鶴が著した『好色一代男』の中で、名うてのブレイボーイであり絶倫家である世之介が、女腰ヶ島へわたる船の中へ積み込んだのも、この八味丸（腎気丸）でした。

現在では、単に精力増強剤にとどまらず、さらに広範囲に、老人病や成人病の予防薬、治療薬として、非常に多くの人々に愛用されています。

冒頭に述べたように、八味丸はへそから下、足腰にいたる老化防止に大変効果のある漢方薬です。前立腺の肥大によつて生じる排尿困難（尿の出が悪くなること）、糖尿病、尿の閉塞が短くなること、糖尿病、脚気、膀胱炎、腎臓結石、老人性腰痛、ギックリ腰、また手足のしびれ、むくみ、ほてりなどの治癒が、その代表例としてあげられます。しかし、八味丸の守備範囲は下半

の方がフニャフニャとやわらかく感じる人、あるいは下腹部の感覚が鈍くなつて何も感じなくなつてしまった人は、まさにビタリと八味丸の証に適合しています。

つまり釣藤散は、高血圧気味の人のとくにすめたい脳卒中防止薬、老化防止薬ということができるといえます。

高血圧に対する効果は現在、薬理学的にも実証されている事実です。釣藤散の中には、リンゴポリンと呼ばれる、血圧を下げる成分の含まれていることが判明しています。リンゴポリンは、手や足の先に加えて伸びている細い末端の血管を広げる作用してくれ、血管を広げることによって血の流れがスムーズにし、血圧を適度な状態に保ってくれるのです。